

令和6年度企画展  
宇佐神宮御鎮座1300年記念

# 八幡信仰の至宝

## 八幡信仰と地域の人々の強い結びつき

令和7年(2025)は、宇佐の小椋山に八幡神が鎮座してから1300年目にあたります。また、秋には10年に一度の勅祭が行われる、記念すべき年です。

もともと、八幡神は宇佐周辺で信仰された神で、聖武天皇による東大寺大仏の造立を支援したことをきっかけに、律令国家と歩みをともし、朝廷から守護神として崇められました。大分県では、宇佐や国東半島を中心に、人々は八幡神へ祈りをささげ、実に豊かな文化財・文化が生まれました。この展示では、朝廷や武士をはじめ、さまざまな人々と八幡神とのつながりを、各地域に残る至宝を通して紹介します。



◀国宝 孔雀文馨  
〔個人蔵〕

▲青白磁貼花牡丹唐草文壺  
〔大和文華館蔵〕

▲国宝 平城宮跡出土木簡  
〔奈良文化財研究所蔵〕

▲勝色威具足  
〔藤崎八幡宮蔵〕



▲宇佐八幡宮縁起絵巻〔宇佐神宮蔵〕

## 関連イベント

### 講演会「八幡神とはなにか」※参加無料

- ◆定員 80名(当日先着順)
- ◆日時 令和7年2月8日(土) 13:00~15:00
- ◆会場 大分県立歴史博物館 講堂
- ◆講師 飯沼賢司氏(別府大学名誉教授)



飯沼賢司氏

### 歴史ウォーキング「宇佐大路を歩く」※参加無料

- ◆定員 20名(事前申込)
- ◆日時 令和7年2月16日(日) 13:30~16:30
- ◆コース 博物館~鷹居社~百体社~宇佐神宮(約5km)  
※宇佐神宮から臨時バスで博物館へ戻ります
- ◆申込期間 令和7年1月20日(月)から ◆申込方法 電話のみ(9:00~17:00)

### ギャラリートーク ※要観覧料

- ◆日時 1回目 令和7年2月23日(日) 13:30~14:30  
2回目 令和7年3月1日(土) 13:30~14:30
- ◆会場 大分県立歴史博物館企画展示室
- ◆講師 当館職員

宇佐風土記の丘

## 大分県立歴史博物館

OITA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒872-0101 大分県宇佐市大字高森字京塚  
Tel : 0978-37-2100 Fax : 0978-37-2101  
<https://www.pref.oita.jp/site/rekishihakubutsukan/>  
E-mail a31702@pref.oita.lg.jp

〈交通案内〉

車

東九州自動車道「宇佐IC」より12分  
東九州自動車道「院内IC」より15分

タクシー

JR 柳ヶ浦駅から5分 / JR 宇佐駅から10分

